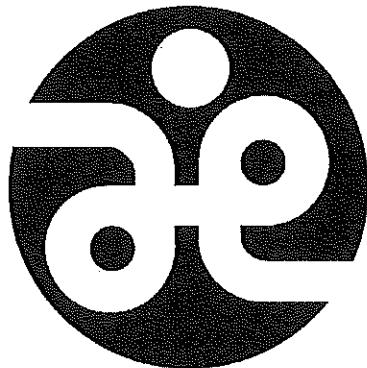


令和4年度
社会福祉法人奥州市社会福祉協議会
事業報告書



自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日
社会福祉法人奥州市社会福祉協議会

令和4年度社会福祉法人奥州市社会福祉協議会事業報告

令和4年度は、前年度から取組みを開始した、市民の福祉に対する信頼や期待に応える法人経営の確立のための「奥州市社会福祉協議会発展・強化経営計画」と、本市の地域福祉の更なる充実のための「第3次奥州市地域福祉活動計画」のこれまでの取組み状況を点検するとともに、年次計画を着実に実行し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりに向けて「地域共生社会の実現」を更に進め、一層の市民サービスの向上に取組みました。

新型コロナウイルス感染症の拡大が市民生活に大きな影響を与え、住民同士のつながりの希薄化、社会的孤立や生活困窮、介護・子育てに対する不安など、私たちを取り巻く福祉課題の複雑、多様化が進む中、本会の果たすべき役割の重要性を認識し、知恵を出し合いながら最大限の効果を生み出せるような事業を展開しました。

○ 重点事業の実施状況

(1) 地域共生社会の実現を重点とする「第3次奥州市地域福祉活動計画」の取組み

① 誰もが安全・安心に暮らせる地域づくり

*地域セーフティネット会議の設置状況を評価し、課題の整理を行うことで更なる普及を目指し、地域課題の発見や解決に向けた体制をつくり、日常生活をお互いに支えあう仕組みづくりを推進しました。《担当課*地域福祉課》

*公的サービスと地域のたすけあい活動との連携を図るため、行政との協働により情報交換会を実施し、支援を必要とするしないに関わらず地域のきずなを深めるための機会づくりを進めました。《担当課*地域福祉課》

② 地域の福祉を支える仕組みづくり

*地域における協働のプラットフォーム（地域の福祉課題について自発的に対等な立場で参加し共有・協議する場）づくりのモデルとして、奥州市地域づくり推進課と情報交換を行いながら、地域づくり計画の作成を支援するとともに、協働のプラットフォームづくりに向けたあり方を整理しました。

《担当課*地域福祉課》

*子育て世代と地域住民が接点を持つきっかけをつくり、子どもを一時的に預かることができるような仕組みづくりに向け、モデル地区を指定して情報交換を行うとともに、地域の居場所設置について地区振興会と協議を開始しました。《担当課*こども福祉課》

③ 市民の暮らしや活動を支える体制づくり

*福祉活動専門員（C S W）の活動内容や役割を広く周知するため、地域セーフティネット会議の活動事例や記録の整理を行い、各地域の状況を分析し、活動事例集を作成しました。《担当課*地域福祉課》

*災害に備えるため、災害ボランティアセンター設置・運営訓練や福祉避難所開設訓練、研修を実施し、社会福祉法人や市民団体との連携を確認しました。《担当

課＊総務財政課・地域福祉課》

*複合的な相談に対応する総合的な窓口を整備するため、重層的支援体制整備に向けた相談窓口の対応のあり方を奥州市と検討するとともに、相談窓口の対応基準のあり方について協議しました。《担当課＊生活応援課》

(2) 効果的・効率的な組織運営をめざす「発展・強化経営計画」の実践

① 信頼ある組織・機構づくりと事業推進体制の見直し

*令和3年度に行った組織機構改革について、地域福祉推進協議会の意向確認を実施し、実情の把握と評価を行いました。《担当課＊総務財政課》

*電子決裁の正式運用と利便性向上のためのアンケートの実施、電子会議室の機能、使用方法を周知することで、事務の効率性と機能性を強化しました。《担当課＊総務財政課》

*理事の責務を明確にするとともに、女性理事参画等の仕組みを構築するため、理事定数や選任区分について見直しを行い、役員選任規程を改正しました。《担当課＊総務財政課》

② 法人運営と職員管理・育成の強化

*新たに設置したハラスメント対策委員会において、ハラストップボックス（ハラスメントに係る目安箱）の設置や職員アンケート内容について協議し、働きやすい環境づくりを進めました。《担当課＊総務財政課》

③ 効果的な事業運営と財政基盤の確立

*会費一元化に向けた検討を進め、今後の具体的な方針について協議しました。《担当課＊総務財政課》

*事業評価委員会の答申を受けて各種事業の見直しを行いました。金婚を祝う会は令和4年度の開催をもって廃止することを決定しました。《担当課＊総務財政課》

④ ニーズに基づいた事業展開と評価及び支援体制の確立

*福祉懇談会でアンケート調査を実施し、住民意識や地域課題の把握に努めるとともに、社会資源との連携強化を図るため、全ての地区振興会との情報交換を個別に実施しました。《担当課＊地域福祉課》

*介護事業課が把握している、地域での見守りを必要とする利用者について地域福祉課と情報共有し、課同士の連携による福祉課題解決の仕組みづくりに取り組みました。《担当課＊介護事業課》

*子ども・子育て世代と地域とのつながりを構築するモデル事業として、地域福祉事業と連携しながら、江刺藤里地区でファミカフェを実施しました。《担当課＊こども福祉課》

○ 新規事業の実施状況

(1) 社会福祉法人のネットワーク構築への取組み

地域の福祉ニーズなどに対して、市内の社会福祉法人の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動が連携して行われるように、社会福祉法人連携セミナーを開催

し、法人連携の仕組みとネットワーク化を進めました。《担当課＊総務財政課》

(2) 福祉情報の発信

閲覧者が必要とする情報を入手しやすいよう、ホームページの刷新を行いました。

《担当課＊総務財政課》

(3) 身近な地域での心配ごと相談所開設

福祉や生活に関する悩みを相談できる窓口として、身近な地域に心配ごと相談所を開設し、福祉活動専門員が問題の解決に当たりました。《担当課＊地域福祉課》

(4) 奥州金ヶ崎地域権利擁護あんしんセンターの運営

成年後見制度や日常生活自立支援事業の対象となる権利を擁護する必要がある方が、地域で安心して暮らし続けることができるよう、関係者と役割や機能の内容を共有し、地域連携ネットワークの構築に取り組みました。《担当課＊生活応援課》

(5) こども食堂の立ち上げや運営の支援

こども食堂への食材提供、物品寄付等の呼びかけ、運営持続のための助成金情報の収集と提供、運営スタッフ向け研修会の開催、ボランティア人材の育成やコーディネートを通じ、地域住民によるこども食堂の運営や立上げを支援するとともに、地域交流の活性化を図りました。《担当課＊こども福祉課》

(6) デイサービスセンター統合による介護事業経営の安定化

胆沢デイサービスセンターをじゅあんの園デイサービスセンター施設に統合し、介護事業における有資格職員の確保、施設設備維持経費の負担軽減、訪問介護事業への注力による他法人との競合回避を図りました。《担当課＊介護事業課》

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重視項目 (●)		
			大区分	中区分		新規事業	地域福祉活動計画	発展強化経営計画
1	総務財政課	総務	理事会・役員協議会		* 理事会 理事 15名で構成し、法人業務執行の決定を行った。 * 役員協議会 地域福祉活動計画及び発展・強化経営計画の進捗状況、事業評価委員会の答申、新年度計画の実施方針について協議した。	8回		
2	総務財政課	総務	評議員会		* 評議員 27名で構成。法人の議決機関であり、役員の選任、予算・決算、定款変更、事業計画及び事業報告を議決した。	4回		
3	総務財政課	総務	三役会議		* 会長、副会長及び常務理事により法人業務を協議した。	9回		
4	総務財政課	総務	部会・委員会等の開催		委員会：ボランティア・市民活動センター運営委員会、法人後見運営委員会、事業平価委員会等事業推進に必要な委員会を設置し、専門的な事項について協議した。 * 三役・地域福祉推進協議会委員長合同会議（2/6） * 職員人事委員会（6/16、8/31、12/2、3/15）	1回 4回		
5	総務財政課	総務	事業平価委員会の開催		* 事業平価委員会を開催し、事業の必要性と妥当性を検証し、見直しを図った。 * 令和3年度事業平価委員会答申事項に対する経過報告 * 福祉バス運行事業、奥州市総合福祉センター事業、胆沢総合福祉センター事業、江刺総合コミュニティセンター事業の検討 * 事業評価委員会（8/4、9/6）	2回		
6	総務財政課	総務	事務事業の効率化と機能性		* 事業の電子化・マニュアルチームを立ち上げ、勤怠管理、電子会議室等グレープワーエアの活用方法について検討した。	● 2回		
7	総務財政課	人事	理事の明確化と選出区分等の検討		* 選任区分のあり方にについて、地域代表定数の減員や市を単位とする選任区分、女性理事など具体的な検討を行った。 * 役員選任規程の改正	● 1回		
8	総務財政課	人事	役員研修・職員研修の実施		* 研修実施面の研修本体に基づき役職員の資質向上のため、職場内研修及び外部研修にて取り組んだ。 * 基本研修：全職員共通 * 職階別別研修：初任者、中堅者、管理者 * 専門研修：地域福祉、生活支援、権利擁護、介護、介護等の分野ごとに * 従業員研修 * 職員の教育訓練として、職員研修実施計画に基づく内部研修や派遣研修を行った。 * 内部研修の実施	● 1回		

No.	担当課	部門	事業名等		重点項目(●)			
			大区分	中区分	新規事業	地域福祉活動計画	発展強化経営計画	
		内 容			<ul style="list-style-type: none"> ・新任職員等研修会(4/28 10名) ・管理職、管理者及び中堅職員研修(2/1 35名) ・職員接遇研修会(2/6、38名) ・奥州市総合福祉センター一福社避難所研修訓練(10/25 20名) ・災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練(10/25 60名) ・地域福祉課 CSV研修会(4/27・3/14 延べ40名) ・生活応援課課内グループワーク(5/27・6/24・9/16・11/25 延べ55名) ・放課後児童クラブ所長研修会(6/30 14名) ・放課後児童クラブ職員研修(5月～2月の期間で20回 全職員) ・放課後児童クラブ職員研修(10/4・10/12・10/13・10/21 延べ20名) ・こども福祉課救命救急講習(6/21 51名、7/13 26名、9/27 31名) ・介護事業所職員研修会(6/21 51名、7/13 26名、9/27 31名) ・介護保険事業所・施設ごとの定例内部研修 <p>*外部研修への派遣</p>			

○奥州市
・奥州市重層的支援体制整備事業研修会(10/24 32名)

- 岩手県社会福祉協議会
 - ・市町村社会福祉協議会新任職員研修(4/25・8/19・2/13 3名)
 - ・市町村社会協中期経営計画策定セミナー(6/20 1名)
 - ・重層的支援体制整備事業研修会(7/27 3名)
 - ・事業継続計画(BCP)策定セミナー(7/27 4名)
 - ・コミュニケーションセミナー養成研修会(8/4・9/15・9/16 2名)
 - ・都道府県経営協セミナー(前期)(8/23 1名)
 - ・市町村社会福祉協議会管理指導職員研修(12/5・12/6 2名)
 - ・重層的支援体制の構築に向けた人材養成事業地域づくり実践研修(1/26ほか3日 3名)
 - ・地域福祉推進トップセミナー(3/10 2名)
 - ・市町村災害対応初動チーム研修会(3/23 2名)
 - ・社会福祉法人会計実務講座(8/1～12/13 1名)
- 岩手県立大学
- ・特定課題ファシリテーション研修(6/13・6/14 1名)
 - ・岩手県社会福祉研修「相談支援研修」(8/23 3名)
- 一般社団法人愛媛県社会福祉士会ほか
- ・社会福祉士実習指導者講習会(7/23ほか3日 2名)
- いきいき岩手支援財団

No.	担当課	部門	事業名等			中区分	新規事業	地域福祉活動計画	発展強化経営計画	重点項目(●)
			大区分	内 容	事業名					
9	総務財政課	人事	働きやすい環境づくり	・介護支援専門員 専門研修課程Ⅰ (5/26 ほか 11 日 1名) ・介護支援専門員 専門研修課程Ⅱ (9/23 ほか 5 日 1名) ・介護支援専門員再研修 (5/17～6/24 2名) ・主任介護支援専門員研修課程 (8/25～11/10 1名) ・岩手県認知症介護実践者研修 (7/28 ほか 4 日 1名) ・岩手県認知症対応型サービス事業管理者研修 (10/3・10/4 1名)	●					
10	総務財政課	経理	財務経営管理	ハラスメント対策委員会を開催し、働きやすい職場づくりに向けて、具体的な取り組みを検討した。 *投書箱（ラストトップボックス）の設置 ＊ハラスメントに関する職員アンケートの実施	●					
11	総務財政課	経理	安定した財源確保のための取組み	適正かつ効率的な事業運営と財務監督管理を図るため、各地域の会費やささえあい協賛金の体制や受領方法について、現状を整理し、一元化に向けた方策の検討に着手した。 *会費実績 ・住民会費 30,396,500円 ・法人賛助会費 29,039,500円 ・寄付金実績 1,255,000円 * 寄付金 ・一般寄付 12,135,795円 ・ささえあい協賛金 4,716,982円 ・固定資産物品 6,357,110円 ・指定寄付金 2,859,600円（車イス対応型体重計、タイヤショベル）	●					
12	総務財政課	経理	公的財源歳出に対する保有財産の利用方針の設定	新たな財源確保事業への取り組みについて検討、実施した。 *子ども食堂による子どもの居場所づくりを支援するための連携・協力を図る協定書締結（水沢公用金庫） 維持管理が困難となる本会保有財産（施設等）について、事業評議委員会に諮問し、今後の活用方針を定めた。	●					
13	総務財政課	経理	販売網の設置事業	自動販売機を設置し、売上手数料の益金を福祉活動に役立てた。 *奥州市総合福祉センター・江刺総合コミュニティセンターに設置 ・設置場所 奥州市総合福祉センター、江刺総合コミュニティセンター ・設置台数 2台 ・手数料収入 146,002円	●					
14	総務財政課	経理		会費・ささえあい協賛金の一元化	各地域の会費やささえあい協賛金の改訂や受領方法について、現状を整理し、一元化に向けた方策の検討に着手した。					

No.	担当課	部門	事業名等		内 容		重点項目(●)	
			大区分	中区分	新規事業	地域福祉活動評価	新規事業	地域福祉活動評価
15	総務財政課	企画	広報活動の推進	社会福祉協議会広報紙「おうしゅう福祉だより」を発行し、福祉活動の啓発を図るとともに、市民の参画を促進した。 企画編集の手法や掲載イラスト等を工夫し、読みやすく分かりやすい内容の広報紙づくりに取り組んだ。 さらに、様々な地域活動、実践事例の紹介に努め、福祉に対する興味を持つきっかけづくりを達めた。 SNSを積極的に活用し、タイムリーな情報発信に取り組んだ。 *広報紙「おうしゅう福祉だより」の発行 年間 6回奇数月発行 市内全世帯配布 *スマメディア等への適時適切な情報提供 *ホームページのリニューアル *フェイスブック等による情報発信 *民間活動資源の紹介と助成申請事務の支援 *本会イメージキャラクターのフレイガーナの積極的な活用	●	●		
16	総務財政課	企画	社会福祉法人の地域貢献活動の支援	改正社会福祉法による地域貢献活動の支援のため、研修会を提供し、法人の自主性や創意工夫による取り組みを進めた。 *奥州市社会福祉法人連携セミナー 令和4年8月19日 10法人12人参加	●	●		
17	総務財政課	企画	地域福祉ネットワーク構築支援	振興会等の自治組織との協働による地域福祉の充実に向けて取り組んだ。 *地区地域福祉指揮協議会の設置 *三役・地域福祉指揮協議会委員長合同会議の開催 市内地域ごとに総合的な地域福祉の充実と発展のために方策に関する協議を実現し、地域の福祉活動を市民の参画を得ながら推進した。				
18	総務財政課	企画	地域福祉推進会員設置事業	市内の行政区単位ご福祉活動推進員を設置し、地域福祉活動を推進した。 *奥州市 333人委嘱 水沢 112人・江刺 92人・前沢 50人・胆沢 49人・衣川 30人				
19	総務財政課	企画	福祉サービス苦情解決事業	本会が提供する福祉サービス等に対する苦情へ適切に対応することにより、利用者が福祉サービスを適切に利用できるよう支援した。 *第二委員 (6人) を設置 *事業所ごとに苦情受付担当者を設置 *福祉サービス運営適正化推進会議や苦情解決研修の実施 ・第1回会議 令和4年7月29日 ・第2回会議 令和5年1月27日				

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目 (●)
			大区分	中区分		
20	総務財政課	企画	奥州市社会福祉大会の開催		社会福祉功労者表彰、特別講演等により福祉活動への共通認識と理解を深め福祉意識の醸成を図った。 市民、ボランティア、福祉関係者が一堂に会して、市民主体による福祉活動の推進に向けて共通認識を深めるとともに、これまで本市の社会福祉の向上に尽力され、多大な功績を残された方々を顕彰し、感謝の意を表すことにより、本市の社会福祉の一層の発展に資することを目的として開催した。	新規事業 地域福祉活動 計画
21	総務財政課	企画	奥州市地域福祉推進市民会議の推進		市民及び市内外の自治組織やボランティア団体等、関係団体や機関により地盤活性化の解決に向けた検討や、奥州市地域福祉活動計画の進捗評価と提言を行った。 第3期奥州市地域福祉計画と第3次奥州市地域福祉活動計画の進捗状況を確認するため、奥州市と協働で奥州市地域福祉推進市民会議並びに奥州福祉推進市民会議及び奥州福社群議を開催した。 * 第1回奥州市地域福祉推進市民会議 * 第5回奥州市地域福祉計画、奥州市地域福祉活動計画について	老若扶 化経営 計画
22	総務財政課	企画	共同募金運動への協力		地域福祉活動の重要な財源である共同募金事業との連携協力を図った。 * 赤い羽根募金 * 目標額 25,000,000円 実績額 22,109,833円 * 目標達成率 88.4% 募金件数 1,287件 * 締切たすけあい募金 * 目標額 14,000,000円 実績額 12,495,163円 * 目標達成率 89.3% 募金件数 1,083件 * 災害義援金 * 地震や台風、豪雨被災等 1,040円	
23	総務財政課	企画	総合福祉センターの経営	奥州市総合福祉センターの経営	市民の福祉増進と福祉意識の啓発を図り、地域福祉活動を総合的に推進するための活動拠点として運営を行った。 所在地：奥州市水沢町 利用件数 997件 利用人員 9,747人	

No.	担当課	部門	事業名等		内 容			重点項目 (●)	
			大区分	中区分	利用件数	利用人員	利用回数	新規事業	地域福祉活動計画
24	総務財政課	企画	胆沢総合福祉センター	所在地：奥州市胆沢区南都田 屋内ゲートボール場の設置経営(オバーゲート)	高齢者の生きがい・仲間・健康づくりに寄与し、ふれあいの場、生涯スポーツ振興の活動拠点として屋内ゲートボーラー場を設置整備した。 *1コート3時間ごと、市民1,000円／市民以外2,500円 *利用日数91日 利用団体数58団体 利用延人数3,287人	169件	1,626人		
25	地域福祉課	企画	江刺総合コミュニティセンターの経営	奥州市の指定管理を受け、市民の福祉増進と福祉意識の啓発を図り、地域福祉活動を総合的に推進するための活動拠点として活用し、適切な管理運営に取り組んだ。 利用件数 1,340 件 利用人員 14,572 人					
26	総務財政課	企画	福祉バス運行事業	地域福祉事業の活性化と福祉団体の活動支援のためにバス運行をした。 運行回数 37回 利用人数 551人 佐倉河仙人地区のごみ清掃利用の入浴、温水プール、軽運動の設備のある保健施設の管理運営を行った。 *大へ300円・子ども100円（障がい者割引有）／月曜休館					
27	総務財政課	企画	胆沢地区広域交流センターの管理事業	利用状況					
28	総務財政課	企画	江刺高齢者生産活動センター	*活動状況					

No.	担当課	部門	事業名等			内 容	重点項目 (●)
			大区分	中区分	小区分		
29	総務財政課	企画 前沢バス(ハートバス)運行事業	奥州市公共交通であるデマンド型乗合交通を運行した。主な利用者は、自家用の交通工具がないため公共交通機関に頼らざるを得ない高齢者等で、通院や買い物を利用した。				新規事業 地域福祉活動計画 発展強化経営計画
		小地域ネットワーク事業	*大人1回300円、小学生1回150円、乳幼児無料(随がい手帳・運送会員登録証所持者は半額) ・運行日数 243日(土・日曜日、祝祭日及び年末年始を除く毎日) ・利用人数 11,331人				
30	地域福祉課	地域福祉	*運行委員会の開催 令和4年6月24日、令和5年3月14日 「地域セーフティネット会議」を通じた地域ニーズと対象者の把握を推進し、奥州市歳末たすけあい運動「地域福祉活動助成」においては、団体からの申請件数を増やし従来の地域交流に加え、除雪活動など近隣の方々やボランティアによる助け合いの地域づくりによって、安心して住み続けることのできる福祉のまちづくりに対するニーズへの支援を行った。				
		地域セーフティネット会議	各地域のセーフティネット会議へ福祉活動専門員(CSW)が出席し、運営の支援を行いながら、地域ごとに抱える課題の把握や要援護者の情報共有の場として開催が進められるよう働きかけを行つた。また、コロナ禍においても可能な活動事例や他地域での取り組みの様子を紹介するなど、福祉コミュニティの活性化を推進した。				
		地域福祉活動	要援護者に対する見守りや安否確認、訪問活動を推進した。福祉活動専門員が中心となり関係者連絡会等の開催支援を行ひ、市民相互のささえあい活動を推進した。また、災害時要援護者の迅速な避難支援がなされるよう、奥州市地域福祉要支援者避難支援面の個別情状に基づき、台帳整備を行うとともに小地域ネットワーク事業と連携した取り組みを行つた。 *生活支援活動 地域ニーズに合わせた除雪やゴミ出し・買い物支援などの生活支援の取組みを推進した。				
		支えあい事業「にこにこネット」事業	各地域の取り組み状況				
			地域 実施行政区分数 世帯数 実施回数	水沢 52行政区	江刺 50行政区	前沢 38行政区	胆沢 16行政区 衣川 242行政区 合 計
				56行政区 453世帯 670回	34行政区 217世帯 494回	44行政区 319世帯 445回	30行政区 326世帯 220回 178行政区 70世帯 226回 1385世帯 2,055回

No.	担当課	部門	事業名等		内 容				重点項目 (●)		
			大区分	中区分	新規事業	地域福祉活動計画	発展強化経営計画				
			住民支え愛マップ事業		地域セーフティネット会議の場において生活課題や要援護者の把握と地域協力者のすり合わせを行ないながらマップ作成や情報の更新を推進した。				●	●	
					* ござん茶 集会所や会館を会場に感染症対策を講じながら交流の場を開催した。これまでのお茶飲み会や健康体操といった動きのある活動に加え、譲習会や創作活動など新たな生活様式に配慮したふれあいサロンを開催した。						
					地域 水沢 江刺 前沢 胆沢 衣川 合計 実施力所数 87 力所 41 力所 39 力所 62 力所 10 力所 239 力所 実施回数 1,021 回 415 回 513 回 597 回 107 回 2,653 回 参加人数 12,342 人 4,165 人 4,621 人 5,202 人 1,224 人 27,554 人 中止回数 121 回 49 回 43 回 56 回 25 回 294 回						
					* 地域食堂「ごちそうさま」 ひとり暮らし高齢者の会食や子ども食堂など「食」を通じた多世代の交流の場づくり・コミュニティ活動の実績を行った。 令和4年度は、市内の新型コロナイルスの罹患者が最多となり、中止や参加人数を制限した形での開催となつた。						
					地域 水沢 江刺 前沢 胆沢 衣川 合計 実施行政区数 7 行政区 16 行政区 10 行政区 4 行政区 7 行政区 44 行政区 実施回数 59 回実施 224 回実施 126 回実施 24 回実施 84 回実施 517 回実施 参加人数 708 人 1,725 人 1,140 人 291 人 719 人 4,583 人 中止回数 9 回 16 回 16 回 14 回 5 回 60 回						
					ネットワーク活動やサロンを通じて、居場所づくりや生活支援などの地域福祉活動を推進する団体に助成金を交付した。 対象：242 行政区、助成金額：4,625,000 円						
					小地域における福祉活動助成 区分 水沢 江刺 前沢 胆沢 衣川 小地域ネットワーク活動 86 行政区 52 行政区 50 行政区 38 行政区 16 行政区 1,400,000 円 1,025,000 円 1,005,000 円 820,000 円 375,000 円						

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重 点項目 (●)																																															
			大区分	中区分																																																	
			抜け漏れのない実態把握		* かたりあいの輪福祉懇談会 市内 28 地区で懇談会を開催し、地域セーフティネット会議の取組み効果の検証や住民ニーズの把握に」努めた。また、地域交流の場として実施する「こども食堂」の立ち上げ・運営支援や成年後見制度利用促進基本計画に基づく中核機関として、令和 4 年 4 月 1 日に開設した「奥州金ヶ崎地域権利擁護センター」の利用について周知・啓発を図った。 ● ●	新規事業																																															
			生活課題の検討・調整		* コミュニティソーシャルワークを積極的に進めため、福祉活動専門員（CSW）の経験値に応じて 3 つのグループに分け、グループごとに内容を企画して開催した。 * 福祉活動専門員が積極的に地域に出向き、福祉関係者との信頼関係を構築するとともに、地域における生活課題の把握と整理を行った。 ● ●	地域福祉活動計画																																															
					* ご近所福祉スタッフの配置 地域福祉活動の担い手として、50 世帯に 1 名を自宅にご近所福祉スタッフを委嘱し、見守り活動の推進を行った。																																																
					* ボランティア協力店の普及に促進による買い物支援の基盤整備 こんにちは店（訪問支援型）、いらっしゃい店（店内配慮型）両方を兼ねるこんにちは・いらっしゃい店（訪問支援型・店内配慮型）を設置し、安心で便利な福祉のまちづくりを進めた。 ● ●																																																
			抜け漏れのない支援の実施		<table border="1"> <thead> <tr> <th>水沢</th> <th>江刺</th> <th>前沢</th> <th>胆沢</th> <th>衣川</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>528 人</td> <td>288 人</td> <td>150 人</td> <td>123 人</td> <td>71 人</td> <td>1,160 人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>水沢</th> <th>江刺</th> <th>前沢</th> <th>胆沢</th> <th>衣川</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こんにちは店</td> <td>11 店</td> <td>0 店</td> <td>4 店</td> <td>7 店</td> <td>0 店</td> <td>22 店</td> </tr> <tr> <td>いらっしゃい店</td> <td>5 店</td> <td>0 店</td> <td>1 店</td> <td>0 店</td> <td>1 店</td> <td>7 店</td> </tr> <tr> <td>こんにちは・ いらっしゃい店</td> <td>5 店</td> <td>29 店</td> <td>5 店</td> <td>1 店</td> <td>0 店</td> <td>40 店</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>21 店</td> <td>29 店</td> <td>10 店</td> <td>8 店</td> <td>1 店</td> <td>69 店</td> </tr> </tbody> </table>	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合 計	528 人	288 人	150 人	123 人	71 人	1,160 人	区 分	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合 計	こんにちは店	11 店	0 店	4 店	7 店	0 店	22 店	いらっしゃい店	5 店	0 店	1 店	0 店	1 店	7 店	こんにちは・ いらっしゃい店	5 店	29 店	5 店	1 店	0 店	40 店	合 計	21 店	29 店	10 店	8 店	1 店	69 店	
水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合 計																																																
528 人	288 人	150 人	123 人	71 人	1,160 人																																																
区 分	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合 計																																															
こんにちは店	11 店	0 店	4 店	7 店	0 店	22 店																																															
いらっしゃい店	5 店	0 店	1 店	0 店	1 店	7 店																																															
こんにちは・ いらっしゃい店	5 店	29 店	5 店	1 店	0 店	40 店																																															
合 計	21 店	29 店	10 店	8 店	1 店	69 店																																															
			地域支援活性化		各地域、各地区で開催される民生児童委員協議会の会議に出席し、地域福祉活動推進のための連携を図った。 ● ●																																																
			住民参加型まちづくり普及啓発		地域福祉活性化的取組みとして、地域で暮らし続けるためのおがめさまを学ぶ講座を開催し、市民向けに 10 種類の講座を収録した DVD 貸出と YouTube による動画を提供した。 ● ●																																																

住民支援あり 優先事業
(避難行動要支援者台帳
整備、緊急連絡カードの
作成)

地域福祉
社会課題

४

13

No.	担当課	部門	事業名等			内 容	重点項目 (●)																								
			大区分	中区分	新規事業 活動計画																										
					* 携帯用緊急連絡カードの配備 緊急時の連絡先について確認し、自宅用と携帯用の2種類の緊急連絡力ードの配備・更新を進めた。																										
32	地域福祉課	地域福祉				<p>* 水沢支所</p> <p>支部が主体となり、地域住民がふれあい交流する機会として、地域ふれあい交流事業を実施した。在宅介護者の集いや、地区センター等を主会場とした住民のコミュニケーションづくりの事業など、地域特性やニーズに対する事業を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称・内容</th> <th>実施 地区等</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南地区地域ニーズ対応事業福祉研修会（講演会）</td> <td>水沢南</td> <td>約 80 人</td> </tr> <tr> <td>いきいきみみ親交会（独居高齢者屋食会）</td> <td>水沢南</td> <td>75 人</td> </tr> <tr> <td>ふれあい交流会（独居高齢者等の屋食会）</td> <td>佐倉町</td> <td>55 人</td> </tr> <tr> <td>ふれあいシルバーサロン（健康講座、参加者交流）</td> <td>真城</td> <td>12 人</td> </tr> <tr> <td>地域で支え合う自主防災（研修、ワークショップ）</td> <td>郷体</td> <td>42 人</td> </tr> <tr> <td>ふれあい食堂（地域食堂）</td> <td>羽田</td> <td>約 20 人</td> </tr> <tr> <td>あすなろパーティ（独居高齢者屋食会）</td> <td>羽田</td> <td>16 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 江刺支所</p> <p>市民相互のたすけあいのしくみづくりのため、地域と連携した取組みを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おげんき見守りシステム 江刺地域の要援護者を対象に、岩手県社会福祉協議会のICT（情報通信技術）を用いて毎日の安否確認をし、緊急時や必要な生活支援に対応できる地域のささえあい活動につなげた。 おげんきさん（ひとり暮らし高齢者）登録者 7 世帯 ・ふれあい演芸会 障がい者の日記念事業として障がい者やその家族、市民等の交流の場として毎年実施してきたが、感染症拡大防止のため中止とした。 <p>* 前沢支所</p> <p>・先駆的活動支援の実施</p>	名称・内容	実施 地区等	参加者数	南地区地域ニーズ対応事業福祉研修会（講演会）	水沢南	約 80 人	いきいきみみ親交会（独居高齢者屋食会）	水沢南	75 人	ふれあい交流会（独居高齢者等の屋食会）	佐倉町	55 人	ふれあいシルバーサロン（健康講座、参加者交流）	真城	12 人	地域で支え合う自主防災（研修、ワークショップ）	郷体	42 人	ふれあい食堂（地域食堂）	羽田	約 20 人	あすなろパーティ（独居高齢者屋食会）	羽田	16 人	
名称・内容	実施 地区等	参加者数																													
南地区地域ニーズ対応事業福祉研修会（講演会）	水沢南	約 80 人																													
いきいきみみ親交会（独居高齢者屋食会）	水沢南	75 人																													
ふれあい交流会（独居高齢者等の屋食会）	佐倉町	55 人																													
ふれあいシルバーサロン（健康講座、参加者交流）	真城	12 人																													
地域で支え合う自主防災（研修、ワークショップ）	郷体	42 人																													
ふれあい食堂（地域食堂）	羽田	約 20 人																													
あすなろパーティ（独居高齢者屋食会）	羽田	16 人																													

No.	担当課	部門	事業名等			内 容	重点項目 (●)
			大区分	中区分	事業名		
					地域課題の解決に向けた先駆的な取組みの応援と実践活動のため、地区振興会・福祉活動推進協議会を運営し9行政区に対し助成金を交付した。		
					子ども食堂の実施	前沢15区自治会が、「立石きずな子ども食堂」を実施し、みずきかざり体験やミニゲーム交流と食生活改善推進員手作りの弁当50食を参加者に配布した。	
					フードサポートの実施	ボランティア連絡協議会と連携して食糧支援を企画し、市民から米や食料品等589点の寄付を受け付けた。コロナ禍により減収または失業した世帯や、困難世帯への応急的な支援として延65世帯へ食料品を配給した。	
33	地域福祉課	地域福祉	民生委員・児童委員(協議会)との協働活動の推進	ボランティア・市民活動センター事業	民生委員・児童委員(協議会)と連携し、地域の福祉推進のための会議開催、見守り活動、居場所づくりの協働の取組みや地域のニーズ把握、未だ受けあつた運動配分対象者調査などの地域大元把屋を協力して進めた。また、改選期となり、新生民主委員・児童委員の研修会にて見守り活動や台帳についての説明をした。		
34	地域福祉課	地域福祉	地域における福祉教育の推進(講師研修会開催)		地域福祉課内にボランティア活動振興室を設置し、支所業務の集約を進めた。同課内の地域共生支援室、福祉のまちづくり推進室と協力し、地域福祉推進組織や自治組織、各種関係機関・団体との連携を図った。各種イベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮しながら、対策を講じて参集型研修会等を開催した。		
					*生活支援ボランティア養成講座をささえあいの会まかせで会員や福利学習サポーター、ボランティアに興味のある方を対象で養成講座を開催した。		
					日時 令和4年12月15日(木) 9:30～11:30 内容 「奥州市内で行われているボランティアやたすけあい活動について」 講師 奥州市社会福祉協議会地域福祉課長補佐 岩剣 達也 「何故いま生活支援が必要なのか」 講師 岩手県立大学社会心理学部准教授 佐藤 哲郎 氏 受講者数 67名		
					*市内外各学校等の総合学習の支援 高齢者疑似体験、白杖・アイマスク体験、車いす体験、点字学習、手話学習、障がい当事者による講話等(実施回数:14回) 福祉学習を進める上で補助役割]を果たすボランティア「福祉学習サポートター」の調整を行い、計3名のサポートターを派遣した。		

No.	担当課	部門	事業名等	重点項目(●)			
				新規事業	地域福祉計画	発展強化策	実施計画
		大区分 中区分	内 容				
			<p>*市民ニーズや生活課題の把握</p> <p>今年度は、予定していた研修会や講座の多くが中止となり、受講者アンケートの実施を見合わせることにした。一方で、本会に配置する18名の福祉活動専門員が行政区を単位に実施している地域セーフティネット会議(240か所)で実施へ参加し、住民のくらしのニーズを把握し、買い物や除雪等の生活課題に対し、地域で支えあうための体制づくりを支援した。</p> <p>*各種情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各支所窓口へのボランティア情報掲示、報道関係機関への情報提供(随時) ・おうち福社などより、胆江日日新聞への情報掲載(毎月第2日曜日) ・ホームページ、Facebook(フォロワー326名、昨年対比+23) 等を通じた情報発信 <p>*地域で暮らし続けるためのおかげさまを学ぶ講座</p> <p>コロナ禍でも講座が実施できるように動画視聴(Youtube、DVD貸出)による研修方式で講座を実施した。Youtube再生回数 855回</p>				

【研修1】
 テーマ：立ち上げてみませんか「あなたの地域で子ども食堂」
 講 師：奥州市社会福祉協議会こども福祉課長 及川純子

【研修2】
 テーマ：地域セーフティネット会議運営の方法について
 講 師：奥州市社会福祉協議会地域福祉課主幹 高橋一彦

【研修3】
 テーマ：奥州金ヶ崎地域権利擁護あんしんセンターの利用について
 講 師：奥州市社会福祉協議会生活応援課長 高橋研

【研修4】
 テーマ：地域福祉活動へ若者を巻き込むための方法
 講 師：岩手県立大学総合政策学部4年 山本一輝 氏

【研修5】
 テーマ：コロナ禍でもできるボランティア・市民活動
 講 師：いわて連携復興センター 川原直也 氏

【研修6】
 テーマ：「ダブルケア」と「ヤングケアラー」について
 講 師：岩手奥州ダブルケアの会代表 八幡初恵 氏

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(●)	
			大区分	中区分		新規事業	地域福祉活動計画
					【研修7】 テーマ：町内会・自治会における「これから（コロナ禍収束後も含む）の福祉活動」 講 師：八戸学院大学健康医学部人間健康学科教授 吉田守実 氏		
					【研修8】 テーマ：ジェンダーとセクシュアリティ～日本の現状と今後の方針性～ 講 師：日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科教授 末盛慶 氏		
					【研修9】 テーマ：いなか坊主のおはなし「心を動かす」 講 師：妙見山黒石寺住職 藤渡大吾 氏		
					【研修10】 テーマ：明るく生きるためにコツ 講 師：金性寺住職 松森弘隆 氏 (奥州市社協メンタルヘルス相談室主任相談員)		
	調査研究・情報提供・共				*ボランティア・市民活動に関する情報発信 ・ホームページ、Facebook、おうしゅう福祉だよりに情報掲載 ・胆江日日新聞への情報提供 ・新聞、ラジオ、ケーブルテレビへの情報提供と取材協力（随時） ・Youtubeを通じた情報発信 *奥州ゆいっこ人材名鑑と活用推進 様々な特技を持つ市民を人材名鑑に登録・掲載し、自治会等からの要請に応じて、講師等を紹介する仕組みを推進した。 登録者：58人（団体） 派遣先：地域のサロン		
					*ボランティア調査研究・情報提供／相談・援助／コーディネート／ボランティア保険等の加入促進／民間活動資金の紹介 *奥州市社協ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催 ボランティアコーディネート／相談・援助 ・第1回運営委員会 令和4年10月14日 出席者13人 ・第2回令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について 令和5年3月15日 出席者9人 ・第2回運営委員会 令和5年3月15日 出席者9人 *令和4年度事業中間報告及び令和5年度事業計画（案）について		

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(●)			
			大区分	中区分					
					*ボランティアの登録状況等 ・ボランティアの登録状況				
					活動拠点 ボランティアを主目的 とする団体 所員数	ボランティアを主目的と しない団体 団体数 所員数			
			市全城	2	67	0	0		
			水沢	15	278	3	117		
			江刺	9	142	10	866		
			前沢	11	818	3	41		
			胆沢	5	60	1	2		
			衣川	4	53	5	69		
			合 計	46	1,418	22	1,095		
					・ボランティア保険加入状況				
					区分	基本プラン	天災・地震プラン	特定感染症 重点プラン	合 計
					水沢	24人	2人	4人	30人
					江刺	67人	5人	1人	73人
					前沢	145人	0人	0人	145人
					胆沢	42人	1人	0人	43人
					衣川	15人	1人	0人	16人
					合 計	293人	9人	5人	307人

*住民参加型在宅福祉サービス「ささえあいの会」
生活の手助けを必要とする「おねがい会員」を、有償でお手伝いする「まかせて会員」とマッチングを行ない、支援のコードイネートを行つた。具体的な活動は、洗濯／掃除／買い物／軽易な身の回りの世話／外出介助及び付添い／話し相手など

区分	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合計
おねがい会員	6人	13人	21人	0人	1人	41人
まかせて会員	5人	6人	8人	4人	1人	24人
合 計	11人	19人	29人	4人	2人	65人

No.	担当課	部門	事業名等	大区分	中区分	重点項目(●)					
						新規事業	地域福祉活動計画	発展地化経営計画	新規事業	地域福祉活動計画	発展地化経営計画
			・ささえあいの会活動状況								
			区分	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合計		
			掃除等家事援助	116件	151件	495件	0件	1件	763件		
			通院の付き添い	25件	0件	2件	0件	0件	27件		
			外出支援や買物等	15件	0件	96件	0件	0件	111件		
			留守・見守り	0件	52件	0件	0件	20件	72件		
			草取り等軽作業	2件	55件	0件	0件	0件	57件		
			その他	0件	0件	35件	0件	0件	35件		
			合計	158件	258件	628件	0件	21件	1,065件		
			目標値	活動回数	1,015件	・達成率	104.9%				
			・ささえあいの会まかせて会員研修								
			令和4年12月15日(木) 生活支援ボランティア養成講座	参加3人							
			* ありがとうございますボランティア協力店事業								
			* 高齢者や障がい者を対象とした買い物支援の取り組みとして、日用品の配達や店内での補助等を行なうありがとうございますボランティア協力店事業を推進した。普及・拡大を進めるため、奥州市ボランティア連絡協議会と連携して、店舗の巡回を行った。								
			* 生活支援ボランティア養成講座								
			ささえあいの会まかせて会員や福祉学習サポーター、ボランティアに興味のある方を対象に養成講座を開催した。								
			日時	令和4年12月15日(木) 9:30～11:30							
			内容	「奥州市内で行なわれているボランティアやたすけあ活動について」							
			講師	奥州市社会福祉協議会地域福祉課長補佐 岩渕 達也							
			【何故、ま生き活支援が必要なのか】								
			講師	岩手県立大学社会学部准教授 佐藤 哲郎 氏							
			受講者数	67名							
			* 水沢工業高校テクノボランティア(水沢地域)								
			高齢者宅の電気設備点検や整備等を行う活動								
			協力者数	7人	活動場所	28カ所					
			* まえざわエコキヤップ運動(前沢地域)								
			* 「世界の子どもにワクチンを寄贈することを目的に、まえざわエコキヤップ運動推進委員会によるペットボトルキャップ収集を行い、「世界の子どもにワクチンを 日本国委員会」に寄付した。	取集実績	266件、数量 2,183kg (982,350個)	売却益金	10,915円 (ワクチン約 546人分)				

No.	担当課	部門	事業名等		内 容		重点項目(●) 新規事業 地域福祉	発展強化経営計画 計画
			大区分	中区分	災害被災地や被災者支援	福社ボランティア啓発イベント開催事業		
					* 災害ボランティア開催 岩手県社会福祉協議会と連携し、10月25日に奥州市総合福祉センターにて災害ボランティアセンターの設置・運営に係る協定締結に向けての協議を進めた。 * 奥州市と災害ボランティアセンターの設置・運営等に係る協定を締結した。 * 外国人住民の防災のための取り組み * 奥州市多文化共生推進検討委員会の外国人住民の防災のための提言に基づき、国際交流協会や市地域づくり推進課と連携して、災害時に外国人が孤立することのない環境づくりの推進に努めた。			
					* いさわ福祉まつり 日 期 令和4年10月22日～23日 所 場 胆沢文化創造センター 内 容 福祉施設・ボランティア団体による作品展示、運営協力			
					* 奥州つながるフェスタ 日 期 令和4年11月13日 所 場 奥州市役所江刺総合支所 内 容 市主催事業に参画し、奥州市社会福祉協議会事業紹介ブースを設置することで来場した市民や市内ボランティア団体等へ情報発信を行った。			
					* ボランティア活動フォーラム 日 期 令和4年3月20日 所 場 奥州市総合福祉センター 内 容 「現在のボランティア・市民活動をとりまく動向について」 講演 講師 いわて復興連携支援センター 川原直也 氏 フォーラムディスカッション テーマ「奥州市のボランティア活性化のために必要なこと」			
35	地域福祉課	地域福祉			【くらしとこころの総合相談会】 「家族関係のこと」や「今後の生活の不安」、「子育てのしづらさ」など、様々な悩みごとに 対応した総合相談会を開催した。 ・第1回相談会 実施日 令和4年6月27日(月) 会 場 奥州市総合福祉センター			

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目 (●)	
			大区分	中区分		新規事業	地域福祉活動計画
36	地域福祉課	地域 福祉	心配ごと相談の開設		相談員 12名 (法律6件、相続・登記6件、子育て1件、高齢者・介護4件、こころとからだ1件、仕事2件、財産管理1件、お墓3件、生活全般1件) 第2回相談会 実施日 令和4年9月29日 (木) 会場 奥州市文化会館 中ホール 相談員 13名 相談数 52件 (法律6件、相続・登記8件、子育て2件、高齢者・介護7件、障がい1件、こころとからだ7件、財産管理5件、お墓8件、生活全般8件)	発展強化経営計画	
					相談員 12名 (法律6件、相続・登記6件、子育て1件、高齢者・介護4件、こころとからだ1件、仕事2件、財産管理1件、お墓3件、生活全般1件) 第3回相談会 実施日 令和4年12月14日 (水) 会場 奥州市文化会館 中ホール 相談員 13名 相談数 18件 (法律3件、相続・登記6件、子育て1件、高齢者・介護1件、こころとからだ1件、仕事1件、財産管理1件、お墓3件、生活全般1件)	新規事業	地域福祉活動計画
					相談員 14名 相談数 51件 (法律8件、相続・登記12件、子育て2件、高齢者・介護4件、障がい1件、こころとからだ6件、仕事1件、財産管理3件、お墓8件、生活全般6件)	発展強化経営計画	
					市民のための「よろず相談窓口」として心配ごと相談所を開設し、地域福祉課職員の福祉活動専門員 (CSW) が悩みごとや困りごとの解決に向け助言等を行つた。 (1) 心配ごと相談所の開設 実施期間 令和4年度8月19日から令和5年3月28日までの期間における指定日 原則として毎週火曜日、金曜日 (祝日・年末年始は除く) 時間 午前10時～11時30分 場所 市内30地区センターを年2回巡回して実施 (2) 相談相談状況 開設日数 60日 取扱件数 11件 (家屋1件、家族3件、高齢者福祉2件、障がい者福祉1件、こころ1件、地域・近隣1件、その他2件)	新規事業	地域福祉活動計画

No.	担当課	部門	事業名等		内 容					新規事業	地域福祉計画	重点項目(●)
			大区分	中区分	区分	前沢	胆沢	衣川	合 計			
37	地域福祉課	地域福祉	外出支援サービス事業		寝たきり高齢者・重度の下肢障がい者等を対象に、ボランティアによるリフト付き車両の運行を行い、通院・公共交通への外出支援を進めた。運送ボランティアの構成を図った。 高齢者・障がい者等を対象に、ボランティアによるリフト付き車両の運行を行い、通院・公共交通への外出支援を行つた。 ・利用内容　通院、買い物、諸手続き、会議など							
					区 分	前沢	胆沢	衣川	合 計			
					利用登録人數	19人	0人	3人	22人			
					利用回数	271回	0回	14回	285回			
					ボランティア登録者数	6人	0人	3人	9人			
					・外出支援ボランティアの構成　福利厚生課運営者講習受講 受講者：なし							
38	地域福祉課	地域福祉	福祉車両貸出事業「あぱいん		車いす利用者等、1人では公共交通機関を利用しても困難な在宅者の生活圈拡大と社会参加への支援を目的として、福祉車両の無料貸出事業を実施した。病院への通院送迎が主な利用となった。 貸出し状況							
					水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合 計		
					12件	0件	7件	2件	15件	36件		
39	地域福祉課	地域福祉	生活福祉資金貸付事業		岩手県社会福祉協議会から受託し、生活困窮者自立相談支援事業との連携を図り、要支援者を対象に、生活福祉資金の貸付による更生援助を行つた。 目的資金の貸付受付及び進捗							
					岩手県社会福祉協議会から受託し、要支援者を対象に生活福祉資金の貸付による更生援助を支援した。							
					＊世帯の自立支援・実態把握・償還指導							
					＊世帯の自立支援、目的資金の貸付受付及び進捗、実態把握							
					＊新型コロナウイルス感染症の影響による休業等のため収入への減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための資金が必要な方を対象に特別貸付件数 111件（内コロナ特例緊急小口資金貸付相談対応 100件）							
					・令和4年度コロナ特例緊急小口資金貸付決定件数 58件							
					・令和4年度コロナ特例緊急小口資金貸付決定件数 36件							
					＊コロナ特例貸付終了後も、減収又は続々償還が激しい世帯に対して、最長1年間の償還猶予申請の相談を行つた。							
					・令和4年度特例貸付償還猶予相談対応件数 20件							

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	新規事業 新規事業	地域 福祉	発展強化経営 活動計画 計画	重点項目 (●)									
			大区分	中区分														
生活福祉資金貸付状況																		
			資金種類		令和4年度実績		累 計											
			件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)										
総合支援資金 (コロナ特例除く)			0	0	71	32,819,514												
緊急小口資金 (コロナ特例除く)			6	523,000	72	6,181,000												
不動産担保型生活資金			0	0	1	2,877,000												
離職者支援資金			0	0	2	2,100,000												
福祉資金福祉費			4	1,415,305	83	53,460,565												
教育支援資金			3	1,389,200	200	276,509,588												
コロナ特例緊急小口資金			58	10,900,000	540	95,367,000												
コロナ特例総合支援資金(初回)			36	17,250,000	236	133,765,000												
コロナ特例総合支援資金(延長)			0	0	19	8,630,000												
コロナ特例総合支援資金(再貸付)			0	0	75	36,080,000												
合 計			107	31,477,505	1,299	647,789,667												
※貸付累計は、令和5年3月末現在の金額です。																		
生活福祉が困難な要支援者を対象に、たすけあい資金の貸付による更生援助を支援した。																		
・小口の生活福利資金貸付と生活支援																		
・貸付金5万円まで (無利子)																		
たすけあい資金貸付状況																		
家庭訪問償還指導																		
訪問世帯 20 件																		
訪問件数 20 件																		
訪問日数 5 日																		
面談件数 17 件																		
償還件数 1 件																		
償還金額 20,000 円																		
たすけあい資金不能欠損処理 0 件																		
地域 福祉																		
たすけあい 資金事業																		
おげんきみまもりシステム																		
40 地域 福祉	社課				ひとり暮らし高齢者宅の電話を用いて健康状態を諮詢する「おげんき」みまもりシステム		ひよて「おげんき」みまもりシステム											
41 地域 福祉	社課				隣では見守りが困難な世帯の安全確認を行った。		【江戸】											
					結婚 50 周年の方々が一堂に参集して、互いに歩んだ道のりを祝福し、今後も健康で生きがいを持ち													
					統け、地域の中で活躍されることを願つて開催した。新型コロナウイルス感染予防対応として、会食													

No.	担当課	部門	事業名等		内 容				新規事業 計画	地域 活動 計画	発展強化経営 計画
			大区分	中区分	開催状況	開催日	開催場所	参加者等			
					* 伴う式典を中止し、記念写真撮影・式典の開催とした。						
42	地域福祉課	地域福祉	支所による発行		住民の福祉意識を高めるため、①地域セーフティネット会議普及のための広報掲載化、②誕生日会、自治会の地域福利活動の実践事例の紹介③ボランティア活動の実践紹介を行った。【前沢・胆沢・衣川】						
43	地域福祉課	地域福祉	地域の居場所づくり事業		* ネットワーク活動やサロンを通じた居場所づくりの展開と、子ども食堂の開催に対する支援を推進し、世代間交流の普及に働きかけた。						
44	地域福祉課	地域福祉	地域共生社会推進事業(CSW地域支援事業)	障がい者等地域生活支援事業	「福祉活動専門員個別支援・地域支援手帳書」に基づき、福祉活動専門員が地域ヒーフティネット会議等を通して、困難世帯に対して多職種連携の支援を行った。また、必要に応じてくらしとこころの総合相談会へつなが、市民の悩みごとの解決に努めた。	ゆったりサロン	参加者延117人				
45	地域福祉課	支所	自発的活動支援事業	期日 令和4年4月から令和5年3月まで(毎月第3土曜日)の6回							
			手話奉仕員養成研修事業	会場 奥州市総合福祉センター							
			移動支援事業	市や関係団体と協議を行い、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とした。							
			社会参加支援事業	運行回数 12回	車両貸出回数 0回						
				ボランティア登録者 1人	利用者 0人						
				ペソンコン点訳初級講習会	参加者延24人						
				期日 令和4年10月から令和4年11月まで(全4回)	会場 奥州市総合福祉センター						

No.	担当課	部門	事業名等		中区分	内 容	重点項目(●)			
			新規事業	地域 福祉 活動 計画			発展強化経営計画	地域 福祉 活動 計画	新規 事業	
46	地域福祉課	地域 福祉	事業 (激励金給付・地域づくり活動助成)	生活困難世帯への支援のため激励金支給と、地域の絆を深める行事等への地域福祉活動助成を行 い、年末年始の地域のたすあい運動に取組んだ。 *激励金給付						
			項目	単価区分	激励金 金額	激励金 支帯数 加算人數	合 計			
			生活困難なひとり暮らし高齢者世帯	世帯給付	8,000 円	320 世帯 52 人	2,560,000 円 436,000 円			
			生活困難な高齢者世帯	世帯給付	8,000 円	48 世帯 52 人				
			生活困難な知症高齢者	人員加算	1,000 円					
			寝たきり・認知症高齢者	世帯給付	8,000 円	33 世帯 52 人	316,000 円			
			生活困難な介護が必要な者	人員加算	1,000 円					
			障がい者	世帯給付	8,000 円	144 世帯 244 人	1,396,000 円			
			難病	人員加算	1,000 円	8 世帯 13 人	77,000 円			
			生活困難なひとり親世帯	世帯給付	8,000 円	122 世帯 205 人	1,181,000 円			
			生活困難なひとり親世帯	人員加算	1,000 円					
			その他の生活困難世帯	世帯給付	8,000 円	114 世帯 132 人	1,044,000 円			
			災害被災世帯	人员加算	1,000 円					
				世帯給付	10,000 円	5 世帯 5 人	50,000 円			
			合 計	世帯給付 人員加算	—	794 世帯 698 人	7,060,000 円			
			* 地域福祉活動助成	助成対象	件数	合 計	配分額			
			地域交流		123 件	1,450,000 円				
			生活困難者(世帯)支援		68 件	825,000 円				
			その他		5 件	115,000 円				
			合 計		196 件	2,390,000 円				
			* 共同募金配分金により、罹災者に対する支援 災害及び大災見舞金の交付		9 件	110,000 円				

No.	担当課	部門	事業名等		新規事業	地域福祉活動計画	重点項目(●)	
			大区分	中区分			新規事業	地域福祉活動計画
47	地場福祉課	地域福祉	福社団体支援事業					
48	生活応援課	福祉サービス利用支援	奥州金ヶ崎地域権利擁護あんしんセンターの運営					

各種団体、機関と連携協働し、会員拡大のための周知協力をするとともに、団体の活動を支援した。

関係団体支援の状況

福社団体名	本所	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川
老人クラブ連合会		○		○		
身体障害者会福社会		○			○	
手をつなぐ育成会					○	
民生児童委員協議会	◎	○	○	○	○	
民生児童委員OB会		○	○	○	○	
遺族連合会			○			
ボランティア連絡協議会	◎	○	○	○	○	○

成年後見制度利用促進基本計画に基づき中核機関の業務を受託し、成年後見制度や日常生活自立支援事業の対象となる権利を擁護する必要がある方が、地域で安心して暮らしこなることができるよう、相談支援の実施、法人後見の取組みの実績を基に地域連携ネットワークの構築をすくえ、関係者と役割や機能の内容を共有し、一体的・総合的な権利擁護の仕組みづくりを進めた。

* 奥州金ヶ崎地域権利擁護あんしんセンター事業の円滑な実施のため連携自治体間の基本協定に基づく会議

- 第1回 令和4年5月19日(木)出席者13名
- 第2回 令和4年9月20日(火)出席者14名

* 支援会議の開催

- 要援護者の状態に応じた権利擁護支援の方針等を協議するため支援会議を開催した。
- 第1回 令和4年6月28日(火)協議案件2件出席者7名
- 第2回 令和4年7月26日(火)協議案件1件出席者7名
- 第3回 令和4年8月25日(火)協議案件1件出席者7名
- 第4回 令和4年9月27日(火)協議案件1件出席者7名
- 第5回 令和4年10月27日(火)協議案件1件出席者8名
- 第6回 令和4年11月29日(火)協議案件1件出席者8名
- 第7回 令和5年1月31日(火)協議案件1件出席者10名
- 第8回 令和5年2月28日(火)対応ケースの状況報告等出席者10名

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重視項目 (●)	
			大区分	中区分		新規事業	地域福祉活動計画
					* 奥州金ヶ崎地域福利擁護あんしんセンターと盛岡家庭裁判所水沢支部との情報交換会開催日 令和4年12月19日（月）関係職員4名		
			奥州金ヶ崎地域連携ネットワーク協議会の運営		成年後見制度の利用が必要な人が満度を利用してできるよう各種専門職団体・関係機関の協力・連携強化を目的とした協議の場として、奥州金ヶ崎地域連携ネットワーク協議会を開催した。	●	●
					* 奥州金ヶ崎地域連携ネットワーク協議会 開催日 令和4年5月30日（木）委員出席者11名 オブザーバー参加1名 内 容 令和4年度奥州金ヶ崎地域福利擁護あんしんセンター事業精査について等		
					制度普及啓発するためのチラシとパンフレットを作成し、関係機関へ配布した。		
					* 法人後見研修会 開催日 令和4年10月5日（水） 参加者7法人8名 内 容 社会福祉法人における地域貢献活動のヒント～法人後見事業の実際～ * 令和4年度奥州金ヶ崎地域連携研修会（奥州地域日常生活自立支援事業課題研究会等連絡会） 開催日 令和4年11月11日（金） 参加者38名 内 容 成年後見の実務における課題討議、 * 事業間知等職員派遣（御影部対応） 8件		
					ア 令和4年5月18日（水） 奥州市精神障害者家族連合会 イ 令和4年8月2日（火） 奥州市地域自立支援協議会地域生活支援部会 キ 令和4年11月22日（火） 愛護会職員研修会		
					ウ 令和4年9月16日（金） 金ヶ崎町地域包括ケア会議 エ 令和4年10月3日（月） 岩手県社会福祉士会プロック会 オ 令和4年10月22日（土） 住田町成年後見講座・市民後見人フォローアップ講座 カ 令和4年11月12日（土） 愛護会職員研修会 キ 令和4年12月17日（土） 水元いまわり親の会 ク 成年後見制度申立て相談対応、手続き支援等を行った。 支援により後見人等が受任されたケース 5件（高齢者1件、障害者4件） 支援により申立て手続き中のケース 3件（高齢者1件、障害者2件）		
					相談員1人を配置し、成年後見制度の利用支援と法人後見の受任による不動産や預貯金等の財産管理、契約の代行、身上監護等を行った。 * 受任件数 14件 3/31現在（後見7件、保佐6件、補助1件） 被後見人等の死亡や施設入所等に伴う移管等により3件減	●	

No.	担当課	部門	事業名等		支援事業	中区分	内 容	重点項目(●)	
			大区分	事業名				新規事業	地域福祉活動計画

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(●)	
			大区分	中区分		新規事業	地域福祉活動計画
			無料職業紹介所設置運営事業	奥州市内に居住する生活困窮者自立支援事業の利用者に対して就業を斡旋するため、厚生労働省の認可を受け、無料職業紹介所設置運営事業			
			*無料職業紹介所設置運営事業	*無料職業紹介所設置運営事業事業求人0件・紹介0件			
			職業斡旋事業	何らかの理由で生活が困難した状態になり、当面の食料がない世帯に対し、企業及び市民から寄付された食品を提供了。			
			フードバンク運営事業	*フードバンク運営事業 ・受付件数 124件 ・提供件数 世帯～提供 127件(179人)			
			家族食堂事業	様々な理由で困難している世帯に対して、飲食店経営者の理解を得ながら食事を提供することで、家族の団らんや社会参加の機会を提供し、自立支援につなげていくことをめざし事業を実施した。 *家族食堂事業 ・家族食堂協力店舗 8店 ・提供件数 3件 (5人)			
			地域支援センター運営事業	専門知識を持った保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーを配置し、住民の各種相談を受けて必要な制度や相談につなげるほか、高齢者の褥瘡予防や要支援者へのケアプランを作成、またケアマネジャーへの個別指導や相談支援を行った。 サービスを提供する地域：水沢地区・佐倉町・江刺地域（愛宕・田原・藤里・伊手・相模瀬）			
				*相談内容 （単位：件）			
				項目	総件数	実件数	
				介護予防に関する相談	189	72	
				介護保険に関する相談	320	112	
				権利擁護に関する相談	12	2	
				高齢者虐待に関する相談	67	6	
				包括的・継続的ケアマネジメントに関する相談	36	11	
				福祉事業に関する相談	9	2	
				保健事業に関する相談	0	0	
				その他総合相談	527	125	
				合 計	1,160	330	
				*事業実施回数 （単位：回）			
				個別地域ケア会議	4		
				認知症カフェ開催	7		
				*プラン作成数 （単位：件）			
				項目	総 数	包括作成数	委託数
				介護予防ケアマネジメントプラン作成数	1,528	716	812
				介護予防支援プラン作成数	1,715	688	1,027

No.	担当課	部門	事業名等		重点項目 (●)		
			大区分	中区分	地域 福祉 事業	機能 活動 計画	癡能強 化経営 計画
					* 家族介護教室 第1回 期日 令和4年12月8日 (木) 29名参加 第2回 期日 令和5年1月26日 (木) 13名参加 第3回 期日 令和5年2月9日 (木) 32名参加 テーマ 「親の私の終活」		
					* 相談内容 (単位:件)		
					項目 総件数 対象者 数		
					介護予防に関する相談 95 37		
					介護保険に関する相談 470 123		
					権利擁護に関する相談 53 2		
					高齢者虐待に関する相談 4 1		
					包括的・継続的ケアマネジメントに関する相談 132 7		
					福祉事業に関する相談 2 1		
					保健事業に関する相談 0 0		
					その他総合相談 556 92		
					合 計 1,312 263		
					* 事業実施回数 (単位:回)		
					個別地域ケア会議 6		
					認知症カフェ開催 8		
					* プラン作成数 (単位:件)		
					項目 総 数 委託数		
					介護予防ケアマネジメントプラン作成数 1,222 501 721		
					介護予防支援プラン作成数 1,090 510 580		
					* 家族介護教室 (単位:件)		
					認知症になつても安心して暮らせる地域をめざして ～認知症についてただしく理解しましよう～		
					期日 令和4年9月29日 (木) 16名参加		
第1回					期日 令和4年12月2日 (金) 18名参加		
第2回					期日 令和4年12月16日 (金) 17名参加		
第3回							

No.	担当課	部門	事業名等				内 容	重点項目			
			大区分	中区分	新規事業	地域福祉活動計画		老健強化経営計画			
51	こども 放課後 児童ク ラブ運 営事業	古城放 課後児童ク ラブ指定管 理事業	前沢・古城放 課後児童ク ラブ指定管 理事業	前沢・古城放 課後児童ク ラブ運営事業	*衣川地域 2クラブ／定員60人	施設名 衣川 衣里	定員 90人 45人	開設日数 293日 30人	利用人員 15,428人 4,737人	延べ登録者数 27人 24人	
	こども 放課後 児童ク ラブ運 営事業	放課後児童ク ラブ等指 定管理事業	前沢・古城放 課後児童ク ラブ運営事業	前沢・古城放 課後児童ク ラブ運営事業	*江南地域 1施設／定員60人	施設名 江南地区愛宕	定員 60人	開設日数 293日	利用人員 11,911人	延べ登録者数 61人	
	こども 放課後 児童ク ラブ運 営事業	水沢放課後児童ク ラブ等指 定管理事業	胆沢・南都田	胆沢・南都田	*胆沢地域 2施設／定員70人	施設名 胆沢・南都田	定員 45人 25人	開設日数 290日 293日	利用人員 7,587人 4,740人	延べ登録者数 35人 26人	
	こども 放課後 児童ク ラブ運 営事業	佐倉城	佐倉城	佐倉城	*水沢地域 8施設／定員520人	施設名 水沢 みなみ ときわ 佐倉城 真城 姫体 羽田 黒石	定員 65人 90人 90人 65人 65人 65人 40人 40人	開設日数 293日 293日 293日 293日 293日 252日 250日 250日	利用人員 11,512人 17,448人 15,422人 10,176人 9,522人 11,384人 6,749人 4,175人	延べ登録者数 64人 89人 88人 60人 50人 65人 37人 23人	
	こども 放課後 児童ク ラブ運 営事業	江南地区愛宕	江南地区愛宕	江南地区愛宕	就労等により保護者が日中家庭に不在となる小学校児童を対象として、放課後、長期休暇及び土曜日に適切な遊びや生活の場を提供し、健全育成活動に努めた。また、地域組織と連携し、地域における子育て世帯の総合支援を行った。						

No.	担当課	部門	事業名等	大区分	中区分	内 容	重点項目(●)																											
							新規事業	地域福祉活動計画																										
52	こども 福祉課	-	福祉教育推進事業			<p>市内の教育・保育施設と連携し、児童生徒の福祉教育を支援することを目的として福祉推進校を指定しました。</p> <p>「集める」「触れ合う」「手伝う」「広める」「学ぶ・体験する」「調べる・発表する」「その他の」の項目から活動内容を選択してもらい、事業費補助金を交付しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指定校数</th> <th>幼・保</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>高校以上</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12校</td> <td>20校</td> <td>3校</td> <td>4校</td> <td>39校</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>*市内各学校等の総合学習支援</p> <p>学校に対し福祉学習で取組みやすい環境と方法を提案し、充実した福祉の学びになるようサポートしました。</p> <p>障がい当事者の講話、点字体験学習、キャップハンディ体験学習の出前講座を実施しました。</p> <p>地域にある公共施設を活用したふくしの授業を実施し、身近にある課題への気づきを促し、共生について考える機会とした。</p> <p>福祉学習サポーター等市民ボランティア派遣人数 延べ3名</p> <p>令和4年度はコロナ禍により、ボランティアと受入れ側双方に制約があつたため、活動数が減りました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施回数</th> <th>水沢</th> <th>江刺</th> <th>前沢</th> <th>胆沢</th> <th>衣川</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8回</td> <td>3回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>0回</td> <td>14回</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指定校数	幼・保	小学校	中学校	高校以上	合計	12校	20校	3校	4校	39校		実施回数	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合計	8回	3回	1回	2回	0回	14回			
指定校数	幼・保	小学校	中学校	高校以上	合計																													
12校	20校	3校	4校	39校																														
実施回数	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合計																												
8回	3回	1回	2回	0回	14回																													
53	こども 福祉課	-	こども 食堂運 営推進 事業			<p>地域住民によるこども食堂の運営や立ち上げを支援し、地域交流の活性化を図った。</p> <p>*子ども食堂への食材提供、物品寄付等の呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民や企業から食材が無駄食はれがあつたものをこども食堂へ提供しました。 ・SNSや福祉総務会等で、食材提供につづいて呼びかけを行つた。 <p>*運営持続のための情報収集・提供</p> <p>助成金について情報収集をし、こども食堂へ情報提供を行つた。また、助成金申請に関する相談受付や書類作成の協力をした。</p> <p>*運営スタッフ向け研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国こども食堂支援センターの方を講師として招き、運営スタッフ向けの研修会を開催した。 ・令和4年6月6日(月) 開催 ・第1回奥州市子ども居場所・こども食堂研修会 ・地域に出向き、こども食堂の立ち上げや運営に関して説明を行つた。 																												

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目		
			大区分	中区分				
					* 支援実績（食材提供）			
					開催回数	名称	実施団体等	参加人数
					年1回	立石きずな子ども食堂	実行委員会	50人
					年1回	北股地区振興会	北股地区振興会	50人
					年2回	ふれあい食堂	羽田地区食改善推進員	50人
					隔月	みんなの食堂	みんなの家	100人
					月1回	日高こども食堂にじ	学校法人日高学園	50人
					月2回	奥州家族食堂	奥州わらすば	75人
					不定期	しあわせ食堂	奥州いさわ会	100人
					こども食堂に関するボランティア人材の育成を行った。			
					・ボランティアを受け入れる子ども食堂とのコーディネートを行った。			
					・こども食堂に関心のある高校生や地城生と子ども食堂とのコーディネートを行った。			
					・子育ての支援を受けたい人と支援を行える人が会員登録をし、有償で相互援助を行った。			
					* 会員数			
					おねがい会員(支援を受けたい人)	726名	まかせて会員(支援を行える人)	295名
					どつちも会員	52名	合 計	1,073名
					* 年間活動件数			
					活 動 内 容		件 数	
					保育施設(保育所・幼稚園)の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり及び預かりに係る送迎		86 件	
					保育施設(保育所・幼稚園)への送迎のみ		5 件	
					子どもの預かりに係る送迎		7 件	
					放課後児童クラブへの迎えのみ		126 件	
					学校の放課後の子どもの預かり		23 件	
					冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり		10 件	
					買い物物等外出の際の子どもの預かり		33 件	
					保護者の急時間・臨時の就労の場合の送迎		191 件	
					子どもの習い事の送迎		106 件	
					保護者の病気・その他急用の場合の援助		34 件	
					授業の子どもがいる場合の援助(きようすけたい)		262 件	
					登校前・放課後児童クラブ前の預かり		72 件	
					リフレッシュ		11 件	
					合 計		966 件	

こども
福祉課
フアミリーサポートセン
ター事業

54
こども
福祉課

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目 (●)	
			大区分	中区分		新規事業	地域福祉活動計画
55	介護事業課	居宅介護支援事業 介護支援サービス			<p>*おうしゅう福祉ばざよりへ会員募集の記事を掲載した。</p> <p>*市民向け講習会を開催した。</p> <p>*会員交流の場（ファミカフェ）を設置した。</p> <p>水沢：7月21日、11月12日に設置</p> <p>江刺：11月1日に設置</p> <p>介護保険の認定を受けた方のケアプラン作成を行い、介護保険制度を円滑に利用できるよう支援した。</p> <p>*介護給付 月平均利用人数 129人 年間件数 1,546件 目標値 1,500件・達成率 103.1%</p> <p>*介護給付費 24,483,020円 目標値 23,451,000円・達成率 104.4%</p> <p>*介護予防支援 月平均利用人数 46.4人 年間件数 557件 (介護予防ケアマネジメント含む。) 目標値 600件・達成率 92.8%</p> <p>*介護予防支援費 2,643,760円 (介護予防ケアマネジメント支援費含む。) 目標値 2,622,000円・達成率 100.8%</p>		
56	介護事業課	介護保険サービス 訪問介護事業「ヘルペース サービス「げんき」			<p>介護保険の認定を受けた方、障がい者、要介護認定で事業対象者となつた高齢者へホームページが訪問し、家事支援や身体介護を行って在宅生活を継続的に支援した。</p> <p>*介護保険訪問介護事業 サービス提供日数 365日 提供件数 21,780件 月平均利用人数 214人 月平均提供件数 1,815件 1日平均提供件数 60件 介護料収入 48,703,198円 介護予防料収入 30,586,096円</p>	<p>要介護 12,597件、要支援 9,183件 要介護 92人、要支援 122人 要介護 1,050件、要支援 765件 要介護 35件、要支援 25件 目標値 43,632,000円 達成率 111.6% 目標値 28,764,000円 達成率 106.3%</p>	

No.	担当課	部門	事業名等		内 容		新規事業 実績 目標 達成率	地域 福祉 活動 計画 実績 目標 達成率	老健強化経営 計画 実績 目標 達成率
			*	障がい者訪問介護事業					
				提供件数	7,104 件				
				月平均利用人数	98 人				
				月平均提供件数	592 件				
				事業収入	31,873,029 円	目標値 31,428,000 円 達成率 101.4%			
				介護保険の認定を受けた方にに対して、デイサービス事業（通所介護・予防通所介護事業）を行つた。					
				1日の利用定員 18 人					
				開設日数	255 日				
				月平均利用人数	271 人				
				延利用率	3,247 人				
				1日平均利用人数	12.7 人				
				介護予防・総合事業（要支援）	771 人	要支援 目標値 8,388,000 円 達成率 39.8%			
				介護予防料収入	3,342,124 円				
				介護給付（要介護）	2,476 人	要介護 目標値 15,792,000 円 達成率 116.8%			
				介護料収入	18,438,894 円				
				食費等	2,443,850 円				
				1日の利用定員 20 人					
				開設日数	102 日				
				月平均利用人数	100 人				
				延利用率	1,209 人				
				1日平均利用人数	12 人				
				介護予防・総合事業（要支援）	766 人	要支援 目標値 6,768,000 円 達成率 62.0%			
				介護予防料収入	4,197,356 円				
				介護給付（要介護）	443 人				
				介護料収入	3,739,656 円	要介護 目標値 2,760,000 円 達成率 135.5%			
				食費等	798,200 円				
57				胆沢デイサー ビスセンター					

No.	担当課	部門	事業名等		内 容		新規事業	地域福祉計画	老弱強化経営計画	重点項目(●)			
			大区分	中区分	月平均登録者数	延利用率	月平均利用人数	地域密着型介護料	利用料等収入	月平均利用人数	地域密着型介護料		
58	介護事業課	介護保険サービス	小規模多機能型居宅施設「あすも」	小規模施設において、「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境と地域住民との交流の中で日常生活上の支援や相談訓練を行った。	利用登録定員24人、1日の定員 通所12人、宿泊5人	月平均登録者数 延利用率 月平均利用人数 地域密着型介護料 利用料等収入	月平均登録者数 延利用率 月平均利用人数 地域密着型介護料 利用料等収入	月平均登録者数 延利用率 月平均利用人数 地域密着型介護料 利用料等収入	月平均登録者数 延利用率 月平均利用人数 地域密着型介護料 利用料等収入	月平均登録者数 延利用率 月平均利用人数 地域密着型介護料 利用料等収入	月平均登録者数 延利用率 月平均利用人数 地域密着型介護料 利用料等収入		
59	介護事業課	介護保険サービス	いさわ 高齢者複合施設「じゅあんの園」 グループホーム	認知症対応型グループホームと認知症対応型デイサービスセンターの複合型施設の運営を行った。 ぬくもりのある家庭的な雰囲気の中で、利用者一人ひとりの個性を尊重し、安心して生活を送ることができるように環境作りに努めた。また、地域に根ざした施設として、地域住民との交流、外出を通じ、社会とのつながりを大切にし、いきいきとした生活を送られるよう支援した。 *グループホームじゅあんの園 定員9人×2ユニット 18人	認知症対応型グループホーム 地域密着型介護料 利用料等収入	延利用率 月平均利用人数 地域密着型介護料 利用料等収入	延利用率 月平均利用人数 地域密着型介護料 利用料等収入	延利用率 月平均利用人数 地域密着型介護料 利用料等収入	延利用率 月平均利用人数 地域密着型介護料 利用料等収入	延利用率 月平均利用人数 地域密着型介護料 利用料等収入	延利用率 月平均利用人数 地域密着型介護料 利用料等収入	開設日数 延利用率 月平均利用人数 1日平均利用人数 介護料収入(予防会) 食費等	開設日数 延利用率 月平均利用人数 1日平均利用人数 介護料収入(予防会) 食費等

